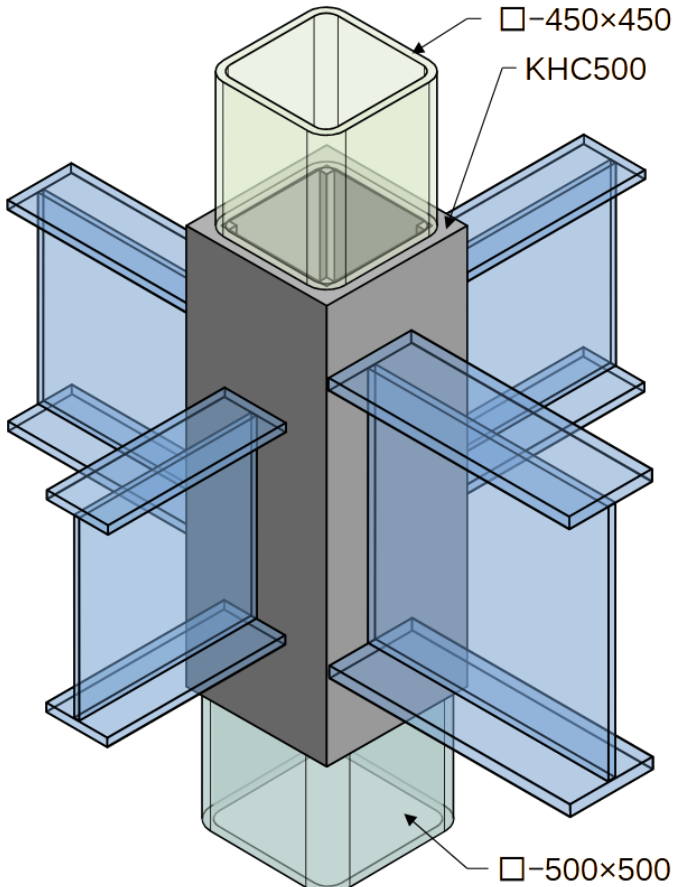


KH-コラムジョイント工法

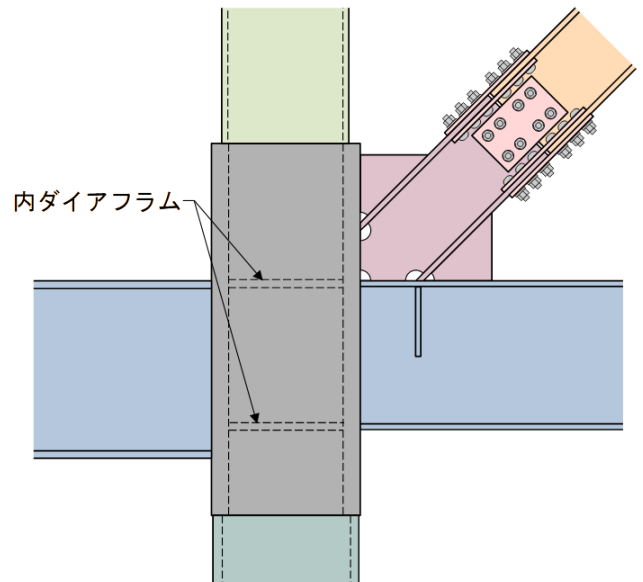
再評価を取得し適用範囲が拡がりました

(一財)ベターリビング評定 CBL SS001-21 号(令和6年9月13日)

KH-コラムジョイント工法は、極厚の溶接角形鋼管を柱梁接合部に用いることでダイアフラムを省略する合理化工法です。



柱の異径継手例



ブレースの接合例

■ 梁段差等の複雑な納まりを解消

ダイアフラムが不要なので、コラムジョイントの各面の任意の位置に梁を溶接することが可能です。また、斜め梁や偏心梁の取付けも自由です。

■ 簡便な構造設計

標準図に示す柱と梁の組合せは保有耐力接合が保証されているので、接合部の計算は不要です。また、一般の構造計算プログラムでの設計が可能です。

■ 鉄骨加工・検査工数の大幅削減

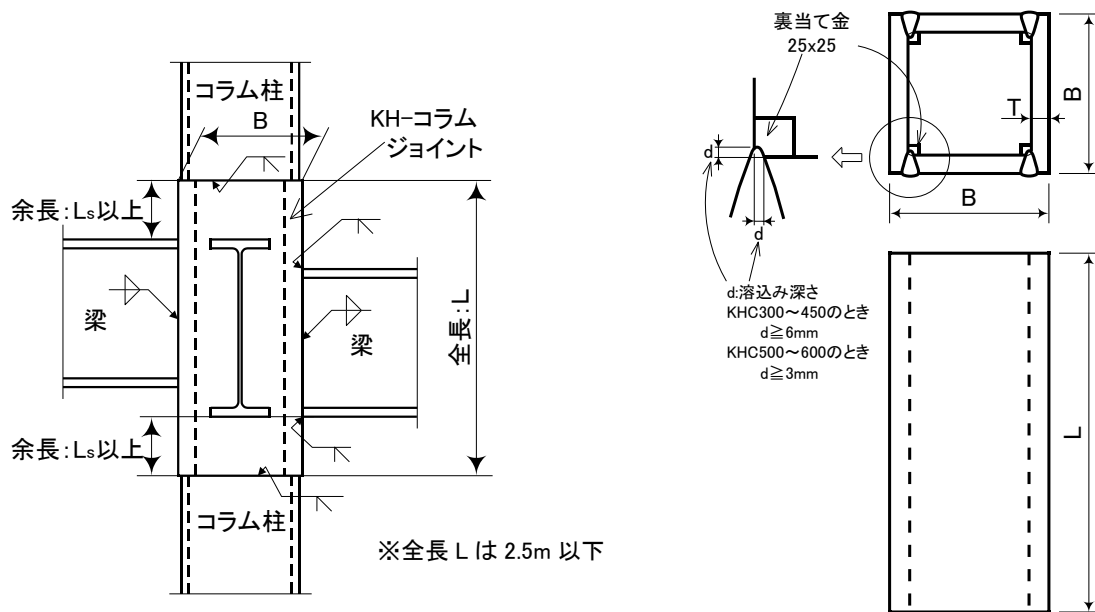
通しダイアフラムと比べて溶接量と UT 検査箇所数が大幅に削減されます。またダイアフラムの出がないため、梁端の開先、スカラップ加工が簡単です。

New ! ■ 柱の異径継手が可能

KH-コラムジョイントの上部に下部よりも外径が 50mm 小さい柱を直接溶接できるようになりました。ただし、コラムジョイントと柱の中心軸が一致し、設計・施工指針に規定する適用範囲のサイズに限ります。

New ! ■ ブレースの接合が可能

ブレースが接合される柱梁接合部にも KH-コラムジョイントが適用できるようになりました。ただし、ブレースの取り合う梁の上下フランジのレベルに内ダイアフラムの取付けが必要となります。



KH-コラムジョイントの製品規格				適用可能な柱の材質とサイズ (青字は異径継手用)		
呼称	断面寸法 B × T (mm)	材質	最小余長 L_s (mm)	BCR295, JBCR295 TSC295	BCP235 BCP325, BCP325T	STKR400, STKR490
KHC300	306 × 36	SN490C	60	□-300 × 300 × 6~22	□-300 × 300 × 9~19	□-300 × 300 × 6~12
KHC350	356 × 40	SN490C	100	□-300 × 300 × 6~9 □-350 × 350 × 9~25	□-300 × 300 × 9 □-350 × 350 × 9~22	□-350 × 350 × 9~12
KHC400	406 × 45	TMCP325C	150	□-350 × 350 × 9~14 □-400 × 400 × 9~25	□-350 × 350 × 9~12 □-400 × 400 × 9~25	—
KHC450	456 × 50	TMCP325C	150	□-400 × 400 × 9~16 □-450 × 450 × 9~28	□-400 × 400 × 9~16 □-450 × 450 × 9~28	—
KHC500	506 × 55	TMCP325C	200	□-450 × 450 × 9~22 □-500 × 500 × 9~28	□-450 × 450 × 9~19 □-500 × 500 × 9~28	—
KHC550	556 × 60	TMCP325C	200	□-500 × 500 × 9~25 □-550 × 550 × 12~28	□-500 × 500 × 9~22 □-550 × 550 × 9~32	—
KHC600	606 × 65	TMCP325C	200	□-550 × 550 × 12~28 —	□-550 × 550 × 9~25 □-600 × 600 × 9~36	—
適用可能な梁		材質	SS400, SM490A,B,C, SN400B,C, SN490B,C			
		サイズ	H-100 × 50 ~ H-900 × 400 (JIS H, 外法一定 H, BH)			
		適用条件	「KH-コラムジョイント工法の設計・施工指針」の保有耐力接合の条件を満足すること。			

